



270号

2023年

4月19日

発行所 岡山大学職員組合

〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1

電話 086-252-1111 (代)

7168 (内線)

直通 TEL&FAX 086-252-4148

ホームページ <https://odunion.jp>メールアドレス info@odunion.jp

目次： 1~2：委員長あいさつ 2：組合成果 3~5：学部単組から 6：お知らせ 7：旅日記 8：野菜三昧

岡山大学職員の生活と権利を守るために いっしょに組合やりませんか！

あなたも 岡山大学職員組合に

ようこそ岡山大学へ

執行委員長 荻野 勝



4月より本学に着任された皆さん、ご着任おめでとうございます。岡山大学に就職できたという嬉しさとともに、新しい

職場でうまくやって行けるかどうかという不安もおありのことだと思います。皆さんが新しい職場に早く慣れてそれぞれの力を発揮できますよう、心からお祈り申し上げます。

今から20年ほど前、一橋大学の学長をなさった阿部謹也氏が岡山大学に来られ、講演をされました。20年も昔のことなので記憶がおぼろげですが、その講演で、氏は「大学にはそれぞれの文化がある」というようなことを言われていたように思います。

考えてみると、例えば学生にとって「大学の文化」とは、「大学のカラー」のようなものかもしれません。また、「大学の文化」と十把一絡げに言っても、学生にとっての「大学の文化」とそこで働く教職員にとっての「大学の文化」とは異なるかもしれません。

さらに考えると、同じ大学でも、例えば津島キャンパスと鹿田キャンパスではその文化が異なるかもしれませんし、また同じキャンパス内でもそれぞれの部署や学部（大学院）で、それぞれの文化というか風習のようなものがあるかもしれません。

岡山大学に着任された方、あるいは新しい部署に異動された方は、自分が配属された部署にうまく馴染めるかどうか心配だと思います。組織そのものも時と共に変化するものではあるものの、既成の文化を持つ職場において新任の（あるいは異

動してきた）人をそのまま受け入れるのは時間がかかると思います。このような場合は、前からその職場にいる人は新しく着任する人を受け入れようとする気持ちを持ち、新しく着任する人は、その職場に溶け込もうという気持ちを持つという、相互の努力が必要なのでしょう。

さて、職場で起こり得る問題で解決しづらいものとして、個人レベルの問題があると思います。例えば極端な例ですが、AさんとBさんがいて、AさんにとってBさんは「何となく合わない／物事のやり方が違う／考え方が違う」などの理由で、AさんがBさんを見捨てたとします。Bさんは、どうして自分がAさんから無視されるのか分からないけれども、いずれは関係が改善すると思って放っておいたとします。

しかし、Aさんの無視はひどくなるばかりで、Bさんは我慢の限界に達しました。するとBさんはAさんに対しての良好な関係を築こうという気持ちがなくなり、Aさんに対する怒りが強くなります。そしてBさんもAさんを見捨てるようになったとします。

最初はAさんから始まった無視でしたが、いざ自分が無視をされてみると、それがとてもつらいことに気づきます。しかし、Bさんは無視を止めることはなく、今度はAさんがBさんの無視に耐えられなくなります。

この時点でAさんとBさんが和解して、お互いに関係の改善に取り組めればいいのですが、例えばAさんがBさんからの無視に関して、ハラスメント相談室に相談し、さらにはこの件が大学で取り上げられるまでに話が発展してしまったらどうでしょう。最初はBさんが被害者であったにもかかわらず、Aさんが大学に訴えたことにより、「Aさんが被害者、Bさんが加害者」となってしまふのです。おそらく大学のその後の調査によ

り、無視は最初はAさんから始まったものであり、Bさんも被害者であることが明らかにされるでしょうが、最初に自分が加害者のように扱われたことに対して、Bさんの驚きや落胆は相当なものであろうと思います。

このようなことが起こらないようにするには、やはり普段から人間関係を良好に保つべく、自分だけの物差しで人を測るのではなく、一步距離を置いて客観的に物事を捉えることが肝要なのでしょう。

上の場合は極端な例かも知れませんが、ハラスメントは知らず知らずのうちに発生し、ハラスメントする側にもされる側にも大きな遺恨を残すものだと思います。自分と周りの人との関係が微妙になったら、自分自身および自分の職場そのものを、少し距離を取って見てみましょう。それでも事態が解決しない場合は、親しい友人に相談するのもいいと思います。そしてもしよろしかった

ら岡山大学職員組合にも相談してみてください。どれだけ解決のお役に立てるかは分かりませんが、第三者としての視点から、アドバイスができるかもしれません。



新しく本学に赴任した人、異動で職場が変更になった人、そして岡山大学に勤務するすべての人々が気持ちよく働けることを目指して、岡山大学職員組合としてできるだけのことができればと思っています。そして「ひと対ひと」のより良好な関係が有機的につながって、岡山大学全体のより良い文化が築かれていくことに、組合が貢献できればと思っています。組合に関してご質問等ありましたら、お気軽にご質問ください。

最後に、新年度において皆さんがより良いスタートを切ることができることを祈念して、4月の挨拶の言葉とさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

組合活動を通じて、以下のような成果を上げています！

＊東日本大震災臨時特例法による給与削減に対し、2012年度は全国トップレベルの減額幅圧縮、13年度は調整手当プラス2%を獲得。

俸給表	級	対象者	本学の減額率		〈参考〉臨時特例法準拠の場合	
			俸給月額、調整手当等俸給月額に連動する手当	期末・勤勉手当	俸給月額、調整手当等俸給月額に連動する手当	期末・勤勉手当
一般職員(一)	7級以上	部長	6%	5%	9.77%	9.77%
	3～6級	主任～課長	4%		7.77%	
	1・2級	係員	2%		4.77%	
一般職員(二)	1～3級	技能職員	2%		4.77%	
教育職員(一)	5級	教授	6%		9.77%	
	3・4級	講師・准教授	4%		7.77%	
	1・2級	助手・助教	2%		4.77%	
医療職員	3～7級	臨床検査技師	4%		7.77%	
	1・2級	栄養士	2%		4.77%	
看護職員	3～6級	保健師	4%		7.77%	
	1・2級		2%		4.77%	



- ＊60分授業・4学期制導入の問題点を指摘しつづけ、50分授業への見直しを実現
- ＊附属学園組合員と理事・教育学部長との懇談実現
- ＊グッドジョブセンターの特別契約職員について、中間評価の開示をするよう規則改定
- ＊非常勤講師授業開発改善手当の廃止に伴い、それに代わる手当を要求し、非常勤講師教育推進手当の支給を実現
- ＊非常勤講師授業開発改善手当の支給期間を2019年度末から2020年度末に延長を要求し実現
- ＊銀婚式休暇 新設
- ＊非常勤職員の結婚休暇 実現
- ＊診療系教員に対する裁量労働制、2019年4/1導入を見送らせる
- ＊ハラスメント防止委員会の設置 実現
- ＊3年次編入「入試手当」の支給 実現
- ＊グッドジョブセンターへの正規職員配置を要求 実現

- ① 各学部の組合(単組)に加入することで、全学の「岡山大学職員組合(連合体)」に加入したことになります。
- ② 「組合費」は単組毎に異なります。連合体分は毎月各職級の80号俸の0.5%です。
- ③ 有期雇用職員の方も加入できます。
- ④ 組合の活動には、単組毎の活動と連合体の活動があります。連合体は、大学執行部との団体交渉、学習会、レクリエーション活動、コーラスサークル、「組合だより」の発行、全国の大学組合との連携等を行っています。

薬学部、全学センター等の教職員、本部職員の方は、直接「連合体」に加入できます。学内便、メールにて連合体事務局(岡本)まで、ご連絡ください。Info@odunion.jp

組合費は単組ごとに異なり、連合体分に各単組分を加えた金額になります。連合体分は、職級別に定めており、毎月、各職級の80号俸×0.5%(100円未満切り捨て)になります。

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
教育職員	1,400円	1,700円	2,000円	2,200円	2,700円	
一般職員	1,100円	1,400円	1,600円	1,800円	1,900円	2,000円
医療職員	1,100円	1,400円	1,600円	1,700円	1,900円	2,000円
看護職員	1,300円	1,400円	1,600円	1,700円	1,900円	2,100円

年俸制の教員は、教授：教育5級、准教授：教育4級、講師：教育3級、助教：教育2級、助手：教育1級の組合費と同額となります。なお、非常勤職員等は別途規定があります。短時間勤務職員の方の組合費は、一律500円となっています。この機会にぜひ組合加入をご検討ください。

各学部単組もあなたの加入をお待ちしています！

法文経学部職員組合

法文経単組では、委員長・書記長・情宣・会計・レクリエーションを担当する執行委員が中心となって、職場環境の改善を目指して活動しています。2022年度も、組合員のみなさんの意見・要望を連合体に伝え、学長交渉の項目に加えてもらっています。また地道な活動ではありますが「組合だより」やレクリエーションご案内などの各種の紙媒体資料配付と、メールによる連合体執行委員会議事要旨、レクリエーション、各種ご案内を送信いたして情報共有に努めております。

法文経単組で恒例となっているビール大会は、2022年7月に新型コロナウイルスによる感染症対策のためオンラインで実施しました。参加者に吉備土手下麦酒(またはソフトドリンク)とお弁当をお配りし、ビンゴ大会やグループトークをオンライン上で行いました。また、職場懇談会(新年会)も2023年1月にリモートで開催し、参加者に吉備土手下麦酒(またはソフトドリンク)とお弁当をお配りし、組合員の皆様の生の声を聞き、

懇親を深めました。さらに、文化教養講座を2023年2月に開催し、医事法について興味深いお話をうかがいました。

法人化以降、大学執行部からトップダウンで様々なことが決定され、私たちの労働環境は厳しさを増す一方です。そのような状況の中、大学執行部と直接交渉できる組合は大変重要な存在になっています。私たち一人ひとりの声は小さくても、たくさん集まれば大きなうねりになります。一人ではなかなか解決できない問題を、ぜひ力を合わせて一緒に解決していきましょう。現在連合体では負担の大きい共通テストを始めとする入試手当を改善するため、大学当局との交渉に取り組んでいます。多くの方が組合に加入してくださいことを、心からお待ち申し上げます。

(連絡先)

委員長 戸前 壽夫

tomae@cc.okayama-u.ac.jp

書記長 廣田 陽子

yokoh@okayama-u.ac.jp

教育学部職員組合



教育学部職員組合では、委員長以下、書記長、会計、広報、文化・レクリエーションを担当する執行委員5名(1年任期)体制で、組合員のみならず部局内の教職員が少しでも働きやすい労働環境を作るべく活動しています。教員の他に、特任教員や有期事務職員の方も加入されています。組合の活動としては、教職員同士の情報共有と、親睦を深め連携を強化することを目的に、福利厚生事業として主に懇親会をはじめ各種イベントを企画・実行する他、音楽や演劇鑑賞等に補助金を出しております。遠い昔には宿泊を伴う研修旅行を行ったこともありました。ただ業務が多忙になってきていることや2021年度にかけてはコロナ禍による活動制限を踏まえ、対面での文化・レクリエーション活動は自粛しておりましたが、昨年10月に久しぶりにリニューアルした岡山城へ旧西国街道を歩きながら行くという魅力的な文化レクリエーションを行い好評でした。また附属学校園も別の単組ですが、協力して昨年は問題に取り組む効果をあげた実績もあります。

私たちの職場環境は、私たちが協力し合い、意識して守っていかなければなりません。組合では、学部執行部との団体交渉を通じて組合員の声を伝え、職場環境の改善に取り組んでいます。全学職員組合の質問状や要望書、団体交渉の結果を組合メンバーへ伝え、様々な労働環境に関わる問題にも取り組んでいます。これらの取り組みは、機関紙『マスカット』などを通じて広報しているところです。

しかしながら、こうした活動を展開するには、まずは自分たちの言いたいことが簡単に言いあえるような土壌を整えていくことが欠かせません。ネット環境も活用しつつリアルな「つながり」の場を重視し、教職員同士が交流できる場を1つでも多く提供すべく、これからも努めていく所存です。皆さまが、一人でも多く組合へご参加くださり、労働環境の改善にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

(連絡先)

委員長 齊藤 武

saitake@okayama-u.ac.jp

書記長 尾島 卓

ojitaku@okayama-u.ac.jp

理学部職員組合



理学部職員組合には理学部での教育研究活動に様々な形で関連する教職員が参加しています。

教教分離や様々な組織改革が進んでおり、4月からの正式な所属名称がまだ覚えられない、あるいは名刺を新しく作り直す方もおられると思います。正式な所属はともかく、理学部に何らかの形で関わっている方は、是非新しい仲間を募集している理学部職員組合にご参加ください。労働・教育・研究環境の改善について考えるのが組合活動だと思います。労働条件や身分の保障など、大きな事は連合体に相談しながら解決を図ります。

一方、日頃活動する部屋や建物の回りでの照明やごみ問題など身近で些細なことについても意見を伝え改善を目指すことも、単組活動の大きな意義だと思います。また、すべての問題には対人関係が絡むことの説もありますが、職場の異なる教職員間で対等な立場で意見を交換できる対人関係を有する組合組織は大切だと思います。

そのためにも、組合員間の親睦行事にも力を入れてきました。コロナ禍では対面での交流が難しい状況でしたが、新年度からは以前のような、ビール工場見学やビアパーティ、夏冬の交流会、学内外での天体観測会等過去に実施してきた行事を少しずつでも再開実施したいと思っています。是非、御参加ください。

(連絡先)

委員長 味野 道信

mino@okayama-u.ac.jp

書記長 岡本 秀毅

hokamoto@okayama-u.ac.jp

農学部職員組合



農学部職員組合は、農学部と附属山陽圏フィールド科学センター(FSセンター)およびARTセンター等関連組織の教員・技術職員・事務職員で構成されています。組織率は高い方で、気軽な相談、情報提供の場として機能しています。伝統的にレクリエーションに力を入れていて、「芋ほり会」は連合体からも協賛頂きながら、FSセンターの協力の下、2022年度は140名を超える参加がありました。また、いつでも誰でも参加できる企画として、「レジャーへ行こう」や「FSセンター販売所に行こう」を行い、組合員のみならずご家族とのコミュニケーションも支援しています。

労使交渉では、年に1回はアンケートを行い、

組合員の皆様が普段お考えのこと、お困りのこと、新たなご提案など様々な意見を頂きながら、それらを集約、整理して、内容によっては連合体を通じて学長との懇談会に活かして頂いています。かつての交渉相手だった学部長とも、懇談会という形で意見交換をする場を設けて頂いており、FSセンター長や事務室長も交えながら、労働問題に留まらず、教育、研究、設備、最近ではコロナ対策など、身の回りのあらゆる事を対象に話題提供をし、懇談内容を組合員にお伝えしています。一方で、組合執行部の負担は少しでも減らせるよう業務内容を常に見直し、DX化にも余念がありません。

このような活動にご賛同頂ける方の、農学部職員組合へのご加入をお待ちしています。

(連絡先)

委員長 難波 和彦

kaz@okayama-u.ac.jp

書記長 前田 恵

mmaeda@okayama-u.ac.jp

工学部職員組合



新入職されたみなさん、ようこそ岡山大学へ。工学部職員組合は、懇親会やリクリエーションを実施せず、実質的な活動は年1回(総会)です。会合は年1回ですが、職場で発生した日々の疑問や懸念に対し、いつでも誰でも気軽に相談できます(相談や話にNGワードはありません)。

個人の知恵、工夫、努力で(辛うじて)対応してきた業務、対応すら分からない難題、そして人には相談しづらい問題(例えば、理解し難いその場ルール、目的不明な書類作成、様々なハラスメント)などはありませんか? 解決できない理由が自分にあると思いませんか? 1人で悩まず、まずは気軽に職員組合にご相談下さい。そのような問題を一緒に解決するために工学部職員組合は存在します。工学部から発信した問題が大学に認められたケース(宿舍、旅費、押印書類そして給料に関する問題など)は数多くあります。

工学部に入職されたみなさんや未加入のみなさん、少しの勇気と時間を頂ければ、新しい未来を一緒につくれると信じています。少しでもみなさんの心からの笑顔が見えてくるような提案や活動を行っていきませんか? ご加入、心よりお待ちしております。

(連絡先)

委員長 西村伸一 内線 8162

theg1786@okayama-u.ac.jp

上森 武 内線 8033

uemori@okayama-u.ac.jp

大西 孝 内線 8042

onishi@mech.okayama-u.ac.jp

附属学校園職員組合



附属学校園の教職員は、岡山県・市との人事交流などで、県内の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校から転勤してきています。民主的な職場の実現について、職場会やアンケートを基に、勤務時間に関わること、変形労働時間・休暇に関わること、賃金に関わること、などについて話し合い、職場の声を届け続けることで、改善を目指しています。今後も引き続きよりよい職場づくりに努力していきたくと思っています。また、『ODUポロシャツ』の組合員への配付や懇談会などの活動を通して、附属学校園の職員の交流・親睦を行っています。これまでの先輩方の活動のおかげで今の職場があることに感謝しつつ、幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の各現場や連合体との連帯のもと、今年度も活動していきたくと考えています。引き続き、組合へのご参加およびご理解・ご支援の程、よろしくお願いいたします。



医学部職員組合

新しく入職されたみなさん、おめでとうございます。夢と希望を抱きながら、また、心配もしながら、多忙な毎日をお過ごしのことと思います。鹿田地区は、岡山大学の中でも、教育、研究、そして、医療という大きな3本柱からできあがっている職場で、さまざまな職種と幅広い年代の教職員が働いています。同じ教職員とはいえ、各職場により、考えること思うことなど、多様性にとんでいます。

医学部職員組合は、そのような組合員から成りたっており、より良い職場をつくろうと、みなさんとともに活動します。また、組合に入ると“ろうきん”や“教職員共済”の各種保険など生活を守り支援する特典が利用できます。職員組合は同じ敷地内の身近なところにありますので、すぐに利用できます。書記さんがいますので、何でも聞きにお越しください。

組合事務所は、中央診療棟3階北側通路東寄りにあり、黄色い看板が目印です。

(連絡先)

鹿田 内線 7632 (月～水曜 11:30～15:30)

shikataunion@gmail.com

全国大学高専教職員組合・岡山大学職員組合

第33回中四国教研集会

大学と賃金

大学教職員の賃金は適正か？



日時： 2023年 5月20日(土) 13:30～
5月21日(日) 12:00

場所： 岡山大学文化科学系総合研究棟 2F 共同研究室(予定)

内容： 講演「普通の暮らしと賃金一生計費調査からわかったこと」
中澤秀一氏(静岡県公立大学法人静岡県立大学
短期大学部社会福祉学科)

レポート 各大学からの大学改革、労働条件・給与問題、
ハラスメント問題などに関するレポートを検討

参加： どなたでも 無料です
可能な限り、公共交通機関でお越しください



日程

第1日目 5月20日(土)

13:30～14:00	受付(文化科学系総合研究棟2F 共同研究室)(予定)
14:00～14:10	開会集会
14:10～15:40	講演
15:40～16:00	休憩
16:00～17:30	レポートと討論(1)
17:40～19:30	懇親会(ピーチユニオン4F)

第2日目 5月21日(日)

9:30～11:25	レポートと討論(2)
11:25～11:50	全体討議と総括
11:50～12:00	閉会

<参加申し込み先>

各学部単組役員または岡山大学職員組合まで
(内線:7168 Email: info@odunion.jp)

部分参加でもOKです。



あなたも組合の仲間になりませんか？

教員の方も、事務職員の方も、パートの方も組合に入ることができます。
加入申し込みは、各単組役員、もしくは右のQRコードからどうぞ。
メールは、info@odunion.jpまで。



教職員の給与・労働条件は、労使交渉で決まります！

一人でも多くの皆様が加入していただくことで、労使交渉における組合の発言力は大きくなり、
よりよい労働条件を実現していくことができます。

ローカル線で行く！フーテン旅行記

第96回

明治時代からの歴史を誇る！ 近江鉄道

工学部職員組合 大西孝

「琵琶湖の面積は滋賀県の何分の一でしょう？」という質問に正確に答えられたら滋賀県民、近畿地方ではそんな話があります。あるテレビ番組で大阪の街角で道行く人に聞くと「1/2」とか「1/3」といった答えが多く帰ってきますが、実際は 1/6 です。こう言われてみると意外と小さいようにも感じますが、それでも琵琶湖は日本一の湖。その滋賀県には、明治時代からの歴史をほこる私鉄が走っています。

滋賀県の東部、琵琶湖の南を走るのが近江鉄道です。新幹線の駅がある米原駅から彦根、八日市を経て、JR の草津線と接続する貴生川駅（甲賀市）までを結ぶ本線と、彦根から3駅西へ進んだ高宮（たかみや）駅から多賀（たが）大社前駅までを結ぶ多賀線、さらには八日市からJR の琵琶湖線と接続する近江八幡駅までを結ぶ八日市線の3路線、総延長 60km 弱の私鉄が近江鉄道です。近江鉄道の発祥は古く、彦根の付近で初めて近江鉄道の列車が走ったのが 1898 年（明治 31 年）のことで、当時は電化しておらず蒸気機関車が走っていました。大正末期から昭和初期にかけて近江鉄道は電化されましたが、他の地域のローカル私鉄と同じく、地方の過疎化や自動車の普及で苦しい経営状況が続いています。そういった中、沿線自治体が近江鉄道の存続について協議し、自治外の負担で存続することが 2020 年 3 月に決まりました。鉄道を廃止してバスに転換すると、通学時

間帯に大量のバスを用意せねばならずかえって費用が高くなるほか、バスの乗務員の確保にも不安があるということで、福井県のえちぜん鉄道と同様、ある程度沿線に人口がある場合、鉄道を残す意義があるという判断のようです。

近江鉄道は、おおむね田園地帯の中を走ります。さすがに 100 年以上の歴史を誇る鉄道だけあって、駅舎やホームの屋根は木造のものが多く、都市部の私鉄とは全く異なる趣です。一方で走っている電車は、西武鉄道で走っていた車両を譲り受けたもので、東京で通勤客を満載していた電車がのんびりと田園地帯を走る姿はユーモラスです。どの路線も味わい深い趣がありますが、特におすすめなのは、多賀線です。多賀線が本線と分かれる高宮駅は、長いホームに古色蒼然とした木造の屋根がかかり、ローカルムード満点です。急なカーブのホームを発車した多賀大社前行きの電車は、途中でスクリーン駅というユニークな名前（駅の目の前の企業の通勤客のために 2008 年に開業）の駅に停車し、終点の多賀大社前を目指します。終点の多賀大社前に降り立つと、駅舎を出てすぐ横に多賀大社の鳥居がそびえています。多賀大社は、滋賀県で最も初詣の参拝者が多い神社で、地元では「お多賀さん」と呼ばれています。筆者が訪れたのは夏の日で、ちょうど万灯祭が行われる日でした。境内には多くの提灯が吊るされ、まだ灯りは入っていなかったものの、多くの提灯が境内の空を埋め尽くす様子は壮観でした。

近江鉄道は比較的運賃が高いものの、金・土・日曜および祝日に使えるフリー切符（ただし年末年始は使用不可）は 900 円と比較的手ごろです。120 年以上にわたり走ってきた近江鉄道、まだまだ地域の足として走り続けます。



近江八幡への支線が分岐する八日市駅に並ぶ電車。それぞれ色が異なりますが、いずれも東京の西武鉄道からやってきました。



水口（みなくち）駅の木造駅舎。この駅は 1900 年（明治 33 年）に開業しました。近江鉄道にはこのような味わい深い駅舎がいくつかあります。



多賀大社前へ向かう多賀線が分かれる高宮駅。構内は広く、古い石積みのホームに木造の屋根が歴史を感じさせます。



8 月上旬に開かれる万灯祭で賑わう多賀大社。「お多賀さん」の呼び名で親しまれる歴史ある神社です。

野菜三昧 ～フェンネル編～

農学部 安場健一郎

春になって、マイハーブ園をのぞくと今年もフェンネルが元気に茂っていました。意外と使いやすいハーブだと思うのですが、日本ではあまりメジャーな地位を確立できていない気がするので、地位向上を目指して今回取り上げたいと思います。

ディルとそっくり

フェンネルは別名茴香（ウイキョウ）と呼び、ヨーロッパ原産のセリ科の植物です。形がそっくりな植物にディルがあります。ただ、匂いが違うので区別できます。また、岡山ではフェンネルは越冬しますが、ディルは冬になると枯れてしまいます（品種の違いなのかもしれませんが）。小さい花が咲きますが、よく見ると非常にきれいな花の形をしていると思います。フェンネルを栽培しているとアカスジカメムシが寄ってきます（匂いはもちろんカメムシ...）が、特に悪さはしないと思います。フェンネルは花が咲いた後の種子も利用できます。かつて、農業試験場に勤務していたころフェンネルの種子をクッキーに混ぜて焼いて、一般公開の時に配布していたのを思い出します。日本にはかなり昔に持ち込まれたようですが、江戸時代に発行された農業全書（宮崎安貞著）を見ると、薬用として種子を利用していたようです。宮沢賢治の詩集「春と修羅」にも登場するとあったので調べてみたら「ミヤマウイキョウ」という別の植物の記載でした。ただ、詩（山の晨明に関する童話風の構想）の中では香料にするとあったので賢治の頭の中ではウイキョウの方をイメージしているのではと私には感じました。余談ですが、ついでに賢治の詩を久々いろいろ読んでみましたが、森羅万象いろんなジャンルのものが想像もしない切り口で出てきて「すごいっ」と感じてしまいました。

栽培方法

種子や苗をホームセンターで買ってきて畑に植え付けて適宜固形肥料を与えましょう。植えたすぐは乾いたら水をあげればOKです。ある程度大きくなるとほったらかしです。結構大きくなるので複数栽培するときは50 cmくらいは間を空ける必要があります。ただ、後述するように野菜として使用するとき以外は1株あれば楽しめるのではと思います。花は6月くらいに咲き、9月くらいに種子ができていました（昔撮った写真で確認したので間違ったらごめんなさい）。越冬しますのでその後は毎年楽しめると思います。

フェンネル餃子

フェンネルの利用方法としては、先に書きました種子をクッキーに入れたりするようなスイーツとしての使い方のほか、葉を魚料理の付け合

せや各種サラダのアクセントとしての利用するのが一般的だと思います。中国では野菜として利用されているようなので、昔から作ってみたいかったフェンネル餃子を作ってみました。レシピは「北京の小麦粉料理」（ウー・ウェン著）です。廃版になっていますが、同じような本が出版されているので一度調べてみられてはと思います。フェンネルを刻んで生姜のすりおろし、豚ひき肉と混ぜてこしょう、塩、ごま油などと混ぜて皮に包んで茹でれば出来上がりです。皮は強力粉を使って手作りしましたが、水餃子は手作りの皮が絶対おいしいと思います。多めに作って翌日は焼き餃子でいただきました。水餃子は、ハクサイ、ネギと豚ひき肉の餡のものは時々作っていましたが、フェンネルさえ手に入れば野菜の水切りとみじん切りの手間を考えると今回の餃子の方が簡単だと思います。味はフェンネルの香りが鼻にぬけて「うまい」といっていただけたと思います。

今回、フェンネルをとりあげましたが、餃子を作ろうとすると家庭菜園で作るしかないのではと思います。色々な食べ方をチャレンジする上でも家庭菜園というのは楽しい趣味になりえるのではと今回の記事を書いていて感じました。

野菜三昧、今回が最終回となります。どのような形でも、家庭菜園の参考になっていましたら大変うれしく思います。長い間、お読みいただいた読者の皆様、どうもありがとうございました。今後とも、岡山大学職員組合をよろしくお願いいたします。



フェンネルの植物は左の図のようにアスパラガスみたいな細かい葉っぱがたくさんつきます。花（この図では蕾ですが）はかなり小さくてアップで撮っています。秋になると右の図のような小さい実がつきます。



餃子ですが肉とフェンネルの配合は左の図のような感じでした。強力粉で作った皮で包んで茹でて水餃子にしました。たれは豆板醤、酢醤油+ラー油の2種類、付け合わせはシーチキン、八朔、トマト、ブロッコリ、黒オリーブのサラダにフェンネルをアレンジしてます。

野菜三昧の連載は今号で終了します。軽妙な語り口で野菜作りの楽しさを伝えてくださった安場健一郎さん、毎号楽しみにして下さった読者の皆様に、誌面を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。